

JSSF NEWS

Japan Securities Scholarship Foundation



公益財団法人 日本証券奨学財団

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 1-5-8 東京証券会館 3 階

URL <https://jssf.or.jp> TEL 03-3664-7113 E-mail jssf.office@jssf.or.jp

第42号

2024年度 奨学生懇談会

2024年10月5日(土) 学士会館

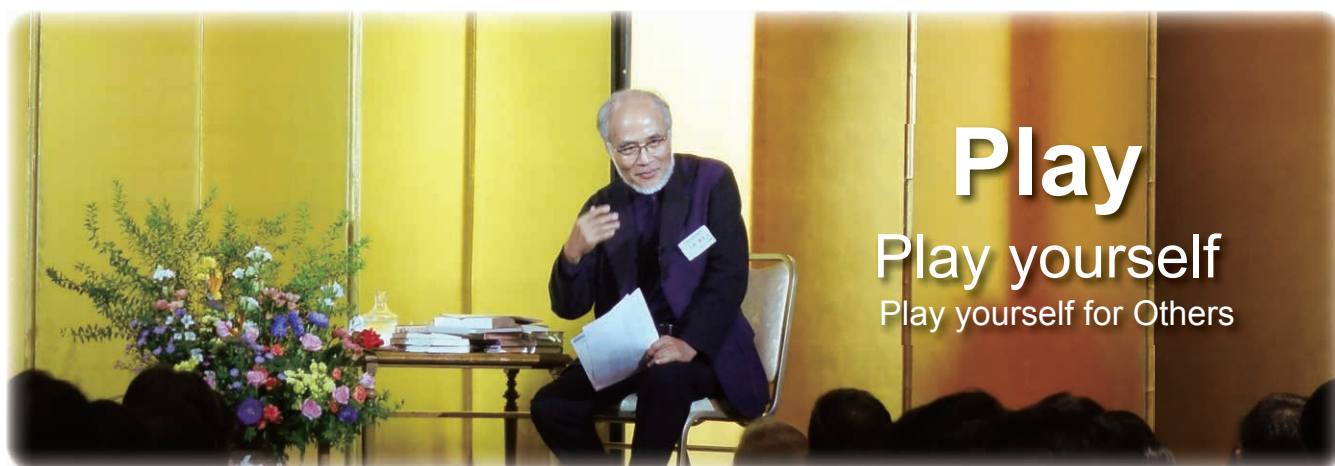


2024年10月5日(土) 東京都千代田区神田錦町の学士会館にて、2024年度奨学生懇談会が開催されました。

当日は、推薦大学関係者17名、現役奨学生146名、財団関係者16名、奨学生修了者55名の皆様にご参加いただき、総勢234名が集いました。講演と対話を通じて、学びと交流が広がる場となり、所属や経験の垣根を越えて多様な視点が交わる有意義なひとときとなりました。

本号の主な内容

- | | | | |
|---------------------------|---|-------------------------------|----|
| ●2024年度奨学生懇談会・懇親会 | 1 | ●2024年度証券奨学同友会総会・懇親会 | 8 |
| ●2024年度奨学生の集い | 4 | ●証券奨学同友会の活動 | 9 |
| ●第4回緊急奨学生支援 | 5 | ●2024年度研究調査・出版助成金贈呈式 | 10 |
| ●2024年度(第51回)奨学金授与式 | 6 | ●寄附者御芳名／感謝状の贈呈／事務局だより 他 | 12 |
| ●2024年度(第50回)奨学生修了式 | 7 | | |



テーマ 「〈人である〉ことを学び続ける——crossover moment について——」

今年度で奨学生選考委員会をご勇退される小林康夫先生（東京大学名誉教授）を講師にお迎えし、「〈人である〉ことを学び続ける——crossover moment について——」をテーマにご講演いただきました。小林先生ならではの思いもよらない演出と絶妙なトークによって、会場は即興劇のような高揚感とリラックスした雰囲気になりました。

小林先生と現役奨学生、奨学生修了者との間には質疑応答を交えた相互的なコミュニケーションが生まれ、多様な視点や価値観を知ることができる学びの機会となりました。



奨学生選考委員会副委員長として、長きにわたり本財団の発展に大変ご尽力いただいた小林康夫先生の講演。また奇しくも、その会場である「学士会館」も閉館（一時休館）となりました。これまで大変お世話になった本財団にとって大きな節目となる印象深い催しになりました。



奨学生懇談会 懇親会

講演後の懇親会では、現役奨学生と奨学生修了者等との世代を超えた懇親が行われ、盛況のうち終了いたしました。

ご参加いただきました多数の皆様には、感謝申し上げますとともに、引き続き本財団の活動にご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



新芝理事長

次 第	
■ 開 会	
● 講演会	
一. 挨拶	
理 事 長	新 芝 宏 之
一. 講 演	
〈人である〉ことを学び続ける —crossover moment について—	
東京大学名誉教授 奨学生選考副委員長	小 林 康 夫
● 懇親会	
■ 閉 会	(敬称略)
	以 上



清水評議員



2024年度 証券奨学生の集い

2024年度は5年振りに「証券奨学生の集い」を開催いたしました。各大学の現役奨学生を中心に同友会員(OB・OG)、奨学金担当者の皆様にも参加いただき、交流や親睦が図られました。

今回開催された8大学の「集い」の様子を以下に掲載いたします。

早稲田大学 (2024年9月9日)



【会場】リーガロイヤルホテル東京
参加者19名(奨学生7名・同友会員4名・大学5名・財団3名)

東京大学 (2024年9月13日)



【会場】日比谷松本楼 東大工学部2号館店
参加者12名(奨学生3名・同友会員4名・大学2名・財団3名)

立命館大学 (2024年10月17日)



【会場】京懐石美濃吉 京都新阪急ホテル店
参加者17名(奨学生6名・同友会員3名・大学5名・財団3名)

神戸大学 (2024年10月18日)



【会場】レストランさくら
参加者18名(奨学生6名・同友会員6名・大学4名・財団2名)

名古屋大学 (2024年10月19日)



【会場】ユニバーサルクラブ
参加者10名(奨学生3名・同友会員4名・大学1名・財団2名)

関西大学 (2024年11月27日)



【会場】レストランチルコロ
参加者16名(奨学生4名・同友会員5名・大学5名・財団2名)

九州大学 (2024年12月3日)



〔会場〕 宮前迎賓館 灯明殿

参加者11名 (奨学生3名・同友会員3名・大学3名・財団2名)

法政大学 (2025年1月31日)



〔会場〕 アルカディア市ヶ谷 私学会館

参加者17名 (奨学生6名・同友会員2名・大学6名・財団3名)

全国の奨学生に対して 第4回緊急奨学生支援を実施しました

本財団では、食料価格・物価高騰の影響を受けている奨学生の皆さんへのお力添えとなるよう、第4回緊急奨学生支援を実施することを理事会で決定し、2024年12月24日、奨学生166名に対し一律5万円を支給いたしました。

なお、過去の緊急奨学金の給付は下記のとおりです。

第1回

2020年 5月
新型コロナウイルス感染症対応

第2回

2022年12月
原油高・物価高騰対応

第3回

2024年 3月
物価高騰対応



写真は 2024 年度奨学金授与式より

2024年度(第51回) 奨学金授与式

2024年7月11日(木) 如水会館

2024年度奨学金授与式は、2024年7月11日(木)午後3時から東京都千代田区一ツ橋の如水会館において、採用奨学生のほか、大学関係者の皆様、役員、評議員をはじめとした本財団関係者の皆様のご出席のもと開催いたしました。本年度の奨学金授与式は1974年度の第1回から数えて51回目となり、本年度採用の奨学生63名を含めた奨学生の総数は4,164名に達しています。



新芝理事長



藤原理事・奨学生選考委員長



立教大学 浜崎様



向山奨学生選考委員



- 次 第 ——
- 開 式
 - 一. 挨拶
理 事 長 新 芝 宏 之
 - 一. 挨拶
理 事 生 選 考 委 員 長 藤 原 誠
 - 一. 奨学生証書授与
 - 一. 祝 辞
立 教 大 学 副 総 長 浜 崎 桂 子
 - 一. 謝 辞
奨 学 生 代 表 関 西 学 院 大 学 大 学 院 博 士 課 程 服 部 茜 (敬称略)
 - 閉 式
- 以 上

2024年度大学別採用者数

大学名	採用	大学名	採用
北海道大学	2	立教大学	3
東北大学	3	早稲田大学	3
新潟大学	3	横浜国立大学	0
筑波大学	3	名古屋大学	3
お茶の水女子大学	2	名古屋市立大学	1
東京大学	2	京都大学	0
東京科学大学 (東京工業大学)	3	同志社大学	2
一橋大学	1	立命館大学	2
東京都立大学	2	大阪大学	2
慶應義塾大学	2	大阪公立大学	3
上智大学	3	関西大学	3
中央大学	1	神戸大学	3
日本大学	0	関西学院大学	2
法政大学	2	広島大学	3
明治大学	1	九州大学	3
		総 合 計	63



2024年度
(第50回)

奨学生修了式

2025年3月6日(木)
如水会館

2024年度奨学生修了式は、2025年3月6日(木) 午後3時から東京都千代田区一ツ橋の如水会館において、奨学生修了者のほか、大学関係者の皆様、役員、評議員をはじめとした本財団関係者の皆様のご出席のもと開催いたしました。

本年度の奨学生修了式は1976年度の第1回から数えて50回目となり、本年度の奨学生修了者66名を含めた奨学生修了者の総数は4,018名に達しています。



新芝理事長



藤原理事・奨学生選考委員長



明治大学 石津様



証券奨学同友会 高田様

2024年度大学別修了者数

大学名	修了	大学名	修了
北海道大学	4	早稲田大学	3
東北大学	2	横浜国立大学	1
新潟大学	4	名古屋大学	1
筑波大学	3	名古屋市立大学	2
お茶の水女子大学	0	京都大学	3
東京大学	3	同志社大学	4
東京科学大学 (東京工業大学)	1	立命館大学	3
一橋大学	2	大阪大学	1
東京都立大学	1	大阪公立大学 (大阪市立大学)	2
慶應義塾大学	2	関西大学	1
上智大学	1	神戸大学	2
中央大学	4	関西学院大学	0
日本大学	2	広島大学	2
法政大学	4	九州大学	2
明治大学	3	総合計	66
立教大学	3		

次 第	
■ 開 式	
一、挨拶	理 事 長 新 芝 宏 之
一、挨拶	理 事 藤 原 誠
一、奨学生修了証書及び記念品授与	
一、祝 辞	明 治 大 学 長 石 津 寿 恵
一、祝 辞	明 治 大 学 副 学 長 石 津 寿 恵
一、祝 辞	証券奨学同友会 代 表 幹 事 高 田 とし子
一、謝 辞	奨 学 生 代 表 梁 安 吉 子 (敬称略)
■ 閉 式	以 上

2024年度奨学生修了者の 就職・進学状況

区分	大学院生		大学生	合計
	博士 課程	修士 課程		
	名	名	名	名
1. 就職 (内訳) 一般企業 その他	18	22	40	
2. 進学	3	11	14	
3. 在学	2	4	6	
4. その他	3	3	6	
計	2	24	40	66



伊達奨学生選考委員



証券奨学同友会総会・懇親会 5年振りの開催

コロナ禍の影響で開催が見送られていた「証券奨学同友会総会・懇親会」が、5年振りに開催されました。

関西地区では5月25日(土)に大阪市中央区北浜のスペイン料理レストラン「エル・ポニエンテ」にて、関東地区では6月1日(土)に東京都中央区日本橋兜町の「ブックラウンジ・カブル」にて、それぞれ正午より開催されました。両地区での総会・懇親会では、参加者同士が久しぶりの再会を喜び合い、和やかな雰囲気の中で交流が進められました。また、事前に会員から寄せられた「近況のお知らせ」を冊子化し、参加者の皆さんに閲覧していただきました。

次回の総会・懇親会にも、ぜひご参加いただけますようお願い申し上げます。

関西地区 総会・懇親会



関東地区 総会・懇親会



証券奨学同友会の活動

本財団の奨学生修了者で組織する「証券奨学同友会」は、会員相互の交流・親睦をはかることを目的に活動しております。



本会報は、公益財団法人日本証券奨学財団の奨学生修了者で組織する証券奨学同友会が発行するものである。

証券奨学同友会は、1977年3月に会員相互の親睦と協調をはかることを目的として発足した。その主な事業は、会員相互の親睦交流、会報の発行及び関東地区と関西地区の総会開催である。2024年4月1日現在の会員数4,000名余となっている。

主な内容

- 会員からの寄稿
 - 夢に向かって、日々挑戦…………… 佐藤 結名子
 - 東日本大震災から13年—大学による復興支援— …… 星野 由雅
 - 物理の深淵を覗く旅路…………… 南 英幸
 - 奨学生期間の歩みと国際学会での学び…………… 松井 希望
 - 世界は生きるに値する…………… 鈴木 愛
 - 夏とダム巡りの観点からの考察…………… 滝川 綾人
- 奨学生修了にあたって（寄稿）
 - 2024年度新入会員
- 2024年度活動報告
- 2024年度新入会員について
 - 大学別内訳／進路の状況／幹事名簿／編集後記

証券奨学同友会の活動を発信する「同友会情報」のご案内

財団では、ホームページ内の「奨学生・OB・OG専用サイト」に「同友会情報」のコーナーを設置しています。「同友会情報」では、証券奨学同友会の活動に関する最新情報を会員の皆様に向けて発信しており、各種イベントの開催案内や報告、会報等の配布資料のダウンロードが可能です。

主な掲載内容

- 同友会総会・奨学生懇談会
 - 同友会総会及び奨学生懇談会の開催情報を掲載し、終了後には開催報告も掲載します。
- 奨学生修了にあたって
 - 新たに会員となられた方々による「奨学生修了にあたって」の寄稿文を大学別に掲示しています。
- 証券奨学同友会報
 - 最新号をPDF形式で閲覧いただけます。
- ダウンロード
 - 証券奨学同友会報のバックナンバー／同友会会則／登録事項の変更届（様式）

※ご注意：「奨学生・OB・OG専用サイト」の閲覧にはIDとパスワードが必要です。
ID・パスワードをお忘れの方は、大学名とお名前を記載の上、以下のアドレスまでメールにてお問い合わせください。
jssf.office@jssf.or.jp

※「同友会情報」では、同友会の活動や会員向け情報を随時更新しておりますので、ぜひご活用ください。

2024年度

研究調査助成金・研究出版助成金贈呈式開催

2024年11月11日(月)東京証券会館

2024年度研究調査助成金・研究出版助成金贈呈式は、2024年11月11日(月)午後3時から日本橋茅場町の東京証券会館において、助成金受給者をはじめ、財団役員、評議員をはじめとした本財団関係者の皆様のご出席のもと開催いたしました。



北川理事・研究調査助成選定委員長



新芝理事長

- 次 第
- 開 式
 - 一. 挨拶
理 事 長 新 芝 宏 之
 - 一. 挨拶
理 事 長 北 川 哲 雄
研究調査助成選定委員会 委 員 長
 - 一. 助成金給付書贈呈
 - 一. 助成金受給者代表挨拶
研究調査助成金
大阪経済大学 佐 藤 愛
経営学部 教 授
研究出版助成金
東京大学大学院 番 定 賢 治
総合文化研究科 助 教
(敬称略)
 - 閉 式
- 以 上



助成金給付書の贈呈



大阪経済大学
経営学部
教授 佐藤愛様



東京大学大学院
総合文化研究科
助教 番定賢治様

同贈呈式では、新芝宏之理事長、研究調査助成選定委員会の北川哲雄委員長による挨拶の後、理事長から受給者に助成金給付書が手交されました。

続いて助成金受給者を代表して大阪経済大学経営学部教授佐藤愛様(研究調査助成金)、東京大学大学院総合文化研究科助教番定賢治様(研究出版助成金)から研究の概要報告とともに挨拶が述べられました。

その後の懇親会では、研究者と本財団関係者との交流が和やかに行われました。



野村研究調査助成選定委員



研究調査助成金・研究出版助成金受給者

2024年度の研究調査助成金・研究出版助成金受給者は次のとおりです。

◇2024年度研究調査助成

研究代表者	研究調査課題	研究形態	金額(万円)
神戸大学大学院経済学研究科 梶谷 懐	経済のデジタル化とグローバル・バリューチェーンの再編に関する中印比較研究	グループ	100
慶應義塾大学 亀井 憲樹	経済主体間の負の互恵性の連鎖とコミットメント装置の機能: 経済実験による考察	グループ	100
関西大学 岸 慶一	資産価格バブルの必然性	グループ	85
大阪経済大学 佐藤 愛	委託された資産運用下での社会的責任投資	グループ	100
順天堂大学スポーツ健康科学部 下窪 拓也	オンライン動画による運動・スポーツのプロモーションが運動習慣の格差に及ぼす影響に関する実証的研究	個人	100
立命館大学 富永 京子	メンタル不調による企業退職者を包摂する雇用・労働システムの研究——地域密着型自営業者を事例として	グループ	88
関西学院大学 濱村 純平	エビデンスに基づく「原価計算基準」研究	グループ	100
亜細亜大学 李 立栄	ビッグテック企業の金融機関化——米中の比較を通じて——	個人	100
8件			773万円

(五十音順・敬称略)

◇2024年度研究出版助成

出版代表者(著者)	研究出版物タイトル	出版形態	金額(万円)
京都大学大学院経営管理研究科 安達 貴教	不完全競争の経済学に向けて——市場支配力指数アプローチ	単著	100
甲南大学 足立 泰美	地方公営企業の経済学	単著	100
大阪大学 五十嵐 彰	可視化される差別: 統計分析が明かす移民・エスニックマイノリティに対する差別と排外主義の構造	単著	100
茨城大学 掛貝 祐太	財政民主主義の地平——スイスの自治・多様性・直接民主主義	単著	100
東京大学大学院総合文化研究科 番定 賢治	戦間期日本外交と国際機構	単著	100
東北文化学園大学 山崎 真帆	復興の〈周縁〉で——〈境界的な被災地〉における東日本大震災のエスノグラフィ	単著	100
6件			600万円

(注) 本表は辞退者を除いている。

(五十音順・敬称略)

財団ホームページに受給研究の概要を掲載しております。

▶ <https://jssf.or.jp/info.html>

研究調査助成 研究出版助成 募集要項

2025年度の研究調査助成、研究出版助成の募集を行っております。

(申請期間: 2025年4月1日から6月30日(必着) まで)

※ 詳細は本財団ホームページをご覧ください。

▶ <https://jssf.or.jp/researchgrant.html>

▶ <https://jssf.or.jp/researchpublication.html>

寄附者御芳名(2024年4月～2025年3月)

次の皆様からご寄附をいただきました。厚くお礼申し上げます。

寄附年月日	御 芳 名	区分	金額(円)	御 趣 旨
2024年5月17日	藤崎 宏子 殿	個人	100,000	貴財団の今後の奨学事業発展のため
2024年5月29日	匿名	個人	100,000	財団の奨学事業支援のため
2024年6月26日	山崎 貴博 殿	個人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2024年6月27日	森本 学 殿	個人	1,000,000	叙勲を記念して財団の事業支援のため
2024年7月1日	匿名	個人	960,000	元奨学生として支援の感謝と、未来の奨学生への支援の為
2024年9月24日	匿名	法人	1,000,000	御財団の育英奨学事業に賛同して
2024年11月7日	稲野 和利 殿	個人	1,000,000	叙勲を記念し財団の奨学事業支援のため
2025年3月27日	匿名	法人	1,000,000	御財団の育英奨学事業に賛同して

★これまでに頂戴したご寄附については、財団ホームページの「寄附者一覧」に掲載しております。

感謝状の贈呈



2024年6月27日、**森本学様**（公益財団法人日本証券経済研究所理事長、本財団元評議員）から「叙勲を記念して財団の事業支援のため」とのご趣旨でご寄附を賜りました。本財団では森本様に感謝状（記念の盾）を贈呈いたしました。



2024年11月7日、**稲野和利様**（株式会社しずおかフィナンシャルグループ取締役、本財団理事、前理事長）から「叙勲を記念し財団の奨学事業支援のため」とのご趣旨でご寄附を賜りました。本財団では稲野様に感謝状（記念の盾）を贈呈いたしました。

事務局だより

■2024年度は「証券奨学生の集い」と「証券奨学同友会総会・懇親会」が5年振りに開催されました。懐かしい再加え、新旧の会員と現役奨学生との初めての交流も生まれ、時の流れと人の流れの緩急を改めて感じる機会となりました。各種ご案内の方法も変化する中、皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げますとともに、今後とも温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ホームページの更新について

いつも本財団のホームページをご利用いただきありがとうございます。

ホームページの奨学生・OB・OG専用サイト、イベント情報、奨学生への連絡等は随時更新されています。

スマートフォンをご利用の方は右記のQRコードからアクセスしてください。

